

ソン・ミギョン
さんのお別れ会

ソン・ミギョン 女史お別れ会

「韓国に行こう!」企画スタートから丸二年が経ちました。手始めに韓国語がわからなければ、何も始まらないと言った事、韓国語講座を受講したのが、国際交流課 勤務のソン・ミギョン 女史との出会いの始まりでした。約半年間の講座の中で授業以外の部分で大変お世話になりました。飲みに行ったり、韓国文化 風習 考え方 歴史等 生々で教えていただきました。歴史背景に伴う国際問題等、当時さまざまな問題が日韓で起きていた最中で、今の時期に韓国に行くと大丈夫なのか不安がありました。韓国一般の考え方は、我々日本人と変わらなという事を感じさせてくれたことに感謝しています。

そしてあの「韓国建築士会平澤地域建築士会交流会」が実現したわけです。

そんな彼女も三月二十二日に帰国しました。そこで我々卒業生?と有志が帰国前に、お別れ会を企画し感謝を込めて送り出そうと三月十八日にささやかながら一席設け、楽しい思い出話、涙の抱擁?、そして元青年委員長の暴走?、さらに成田X子さんの?????と楽しいひと時が過ぎたと思います。参加いただいた方々、セッティングに翻弄したスタッフに感謝いたします。韓国交流は、まだまだ始まったばかりですので公私共にこれからも続けて行きたいと思えます。次の機会には、是非皆さんの参加をお待ちしています。

元青年委員長

新入会員紹介

今月の新入会員は次の方です。

山本潤児さん

(有)山本プランニング一級建築士事務所

山内一修さん

現代設計

お名前の上に の付く方は青年委員会に配属となりますので、積極的な委員会参加をよろしくお願ひします。

青年委員会とは

(社)青森県建築士会青森支部に所属する四十五歳未満の会員で構成されています。これまで参加されたことがない方も、是非、定例会にお越し下さい。

編集後記

まったく不勉強で恥ずかしいのですが、なかなか名建築を見に行くということがあります。これはマズイです。弘前に多い前川國男の作品(個人的には建築を「作品」と呼ぶことに若干の抵抗あり)も、二十三、四年前、高校生のころコンサートを観に行ったのが弘前市民会館だった、というだけ。もちろん前川國男も、そこが彼大建築家の作品(また言った)ということもまったく知らずに。その後デザイン学校に進み、卒業制作の資料を求め通った国立国会図書館。ちょうど新館の建築工事中で、標示板を覗いたら設計が前川國男建築設計事務所でした。観たくてどうとう行けなかったのが、昨年末、東京藝大でやっていった「吉村順三建築展」。藝大建築科百周年記念として、十一月からクリスマスまでやっていました。デザイン学校に入り、初めて教材として配られた図面が「軽井沢の山荘」で、そのなんともしえない形態と、自然との調和に魅了されました。またその後、吉村順三と宮脇 檀が師弟関係だったことを知り、ますます吉村順三を尊敬するようになりました。ときどき覗いてはトップページの御尊顔を拝して(!!)楽しんでいたり吉村設計事務所(前・吉村順三設計事務所)のウェブサイトも、昨年、十二月三十一日を以て事務所を閉鎖しますというアナウンスで、もう見る事ができなくなり残念です。 船水草平

CPD
認定プログラム

4 月定例会のご案内

1 単位

日 時 平成 18 年 4 月 7 日 (金) 18:30 より

今回は緊急につき別途 FAX で案内しましたが、届いていない方はこの出欠案内を使用してください。

場 所 中央市民センター2階中会議室(3)(松原 堤小前)
会議室は「まちづくり応援隊」名義で借りています。

議 題 1. 今年度事業について(地域貢献活動)

2. その他

連絡先 青森支部事務局まで TEL 017-773-2878

FAX 017-723-7105

Mail receipt@aaba.gr.jp

■ 単位シールをご希望の方は確実に出席のご連絡をお願いします(定例会の2日前まで)

事前のご連絡がなく出席された場合は各自にて(社)青森県建築士会 HP (<http://www.aomori-aba.or.jp>) 内の CPD 自己研修バーコード発行システムをご利用下さい。なお各自のログインパスワードは支部事務局までお問い合わせ下さい。FAX でのご連絡は下記にご記入の上送信して下さい。

青年委員会 4 月定例会 4 月 7 日 (金)

出席・欠席

どちらかに○をつけて下さい

4 月 5 日 (水) 必着
をお願いします。

お名前

TEL